

関西の人流・物流リダンダンシーに関する緊急提言 ～関西元気宣言～ (案)

大阪府北部地震、平成 30 年 7 月豪雨、台風第 20 号、台風第 21 号など、関西においては「数十年に一度」の災害が相次ぎ発生した。ライフライン・公共交通機関、世界に誇る観光資源、歴史文化遺産が被災したほか、高潮・高波により船舶、倉庫なども大きな被害を受けた。

とりわけ、外国人観光客や電子部品・医薬品などの輸出入のゲートウェイである関西国際空港では、冠水、浸水被害など多大な被害が発生し、現在復旧・復興に向けた対策が進められ、旅客輸送が再開されたものの、関西に対する不安や懸念から、宿泊のキャンセルや国際会議などのイベントへの影響が広がるとともに、物流にも支障が出始めている。

こうした状況は、来年からのゴールデン・スポーツイヤーズでの国際的スポーツイベントの開催等により、人流・物流がより一層活発になる機会を控える中、関西の経済をけん引しているインバウンドへの影響のみならず、関西の人流・物流に大きな支障が生じ、回復基調にある我が国の経済にも深刻な影響を与えることとなる。

関西では、阪神・淡路大震災及び東日本大震災等の経験と教訓を踏まえ、府県域を越えた広域災害の被害を最小限に抑えるための体制を構築してきた。今回の一連の災害に対しても、関西広域連合と構成府県市が一体となって、迅速な対応に努めてきた。

国内外の人々に関西に対する安心感を持ってもらうとともに、関西が引き続き発展できるよう、人流・物流のリダンダンシーに関して、下記のとおり国に対して緊急に提言するとともに、関西としても積極的に取り組むことにより、「元気な関西」を宣言する。

記

1 観光資源や歴史文化遺産の早期復旧等

観光資源や歴史文化遺産の早期復旧、文化財の防災・耐震対策を進めるとともに、観光資源や文化財を迅速に復旧できる体制の構築や修復のために必要となる制度の拡充を図ること。

2 観光業の風評被害対策等

国内観光客はもとより、災害による訪日外国人観光客への影響を最小限にするとともに、今後、訪日外国人観光客のさらなる増加を図るため、安全・安心に係る正確かつ迅速な情報の発信、今後想定される風評被害対策、訪日旅行の促進及び国際会議等 M I C E の誘致などの対策を実施すること。

3 関西国際空港の早期完全復旧と代替機能の確保等

国内外から関西各地への円滑なアクセスを確保するため、関西国際空港の機能の早期完全復旧を実現するとともに、関西国際空港の強靱化を進めること。

また、完全復旧までの緊急的・暫定的な措置として、関西広域連合管内の大阪国際空港や神戸空港、その他の空港によりその代替機能を確保するなど、弾力的な対策を講じること。あわせて、関西の旅客機能が回復していることを世界に対して強く情報発信すること。

[関西圏域の空港]

関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港、南紀白浜空港、徳島阿波おどり空港、鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港、コウノトリ但馬空港

4 社会インフラの強靱化対策等の推進

台風や豪雨・暴風等により被災した公共土木施設等の早期復旧を図ること。

また、ライフラインの維持に向けた電力・ガス・上下水道や交通インフラの緊急総点検、災害時における迅速な復旧体制の構築及び社会インフラのさらなる強靱化を推進すること。

5 高速道路網の整備推進

広域的な大規模災害が発生した際に、救助・救援活動の支援、緊急物資の輸送、復旧活動を迅速かつ円滑に実施できるよう、国土のミッシングリンクを解消する高速道路網の整備を推進すること。

6 高潮・高波及び津波対策に対する支援

想定を上回る高潮や高波による施設の倒壊被害等の発生や、近い将来の発生が懸念される南海トラフ地震を見据え、既往最高潮位を記録した台風第21号の被災原因検証にかかる技術的な指導・支援及び海岸保全機能確保のために必要となる高潮・高波及び津波対策を強力に推進すること。

平成30年9月22日

関西広域連合